

雲仙市観光マーケティングレポート2026年2月

UNZEN City Tourism Marketing Report

2026 February

今月の風景/小浜温泉灯るプロジェクト(小浜温泉)

一般社団法人 雲仙観光局

UNZEN Destination Service



INDEX

A nighttime photograph of the main torii gate at Onabiki Shrine. The gate is illuminated, and a large, colorful light projection of a rainbow is cast onto the ground in front of it. The projection features a yellow center and blue outer bands, with red and orange patterns on the blue sections. In the background, several people are visible near the gate. To the right, a stone pillar with the shrine's name '小濱神社' is visible, along with a digital display showing a map and other information.

今月のサマリー

年間訪問者数推移

今月の日別訪問者推移

今月のブロック別訪問者割合

今月の訪問者属性

今月の発地×年代比率

他都市比較

今月の特集 2026年 GW含む5月に向けて「見逃されていた消費ポテンシャル」

雲仙観光局活動報告

【1月実績】閑散期ながら日曜・祝日は底堅く推移、長崎県内需要が拡大

1月は年間を通じた閑散期にあたり、前年同月比で平日85%・土曜97%・日曜祝日95%と全般的に前年を下回りました。一方で、長崎県内からの近距離・日帰り需要が増加。寒冷期における遠距離移動の抑制と、初詣や温泉目的での地元需要の底堅さが対照的に表れた月となりました。年代別では40～50代が前月比で増加し、男性比率（59%）が高まる傾向も見られました。

【特集①】GW含む5月市場の「もったいない」を検証 — 課題はコンテンツではなく「届け方の設計」

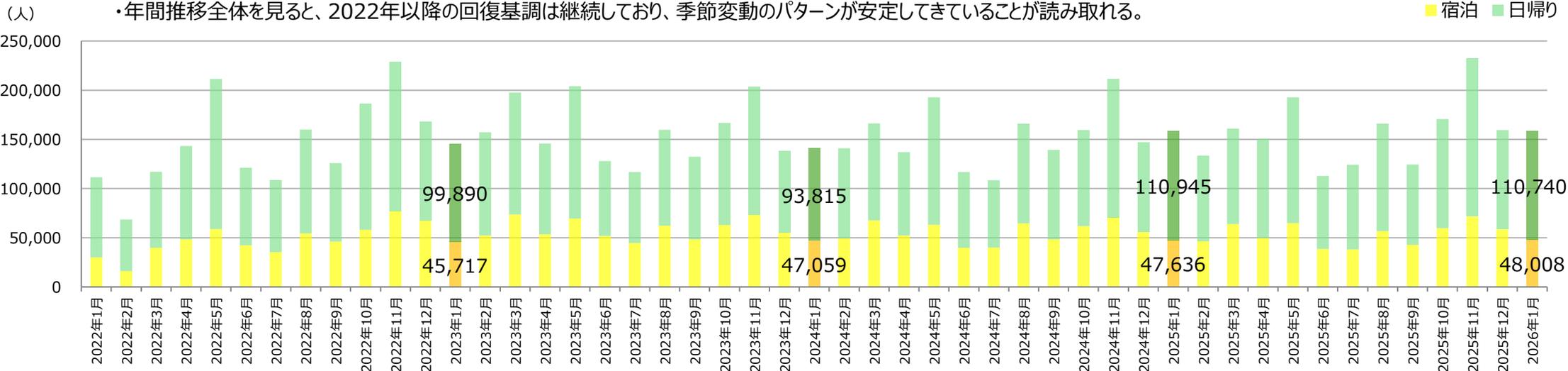
・課題の構造：過去2年の5月アンケートデータを分析した結果、2つの「もったいない」が浮かび上がりました。最多客層である「夫婦2人・50代」は飲食費が同年比▼792円と失速。混雑による情報ギャップが来訪者の消費行動を妨げていると推察されます。

・ファミリー層（小学生以下連れ）は満足度が同年並み（3.99）にもかかわらず、体験費は▼383円にとどまっています。「来てよかった」と感じながらも体験コンテンツが届いていない構造が明らかになりました。

・GWまで約60日。特別な予算や新コンテンツは不要です。宿・飲食・体験施設が「同じ方向を向いて情報を届ける」ことが最大の投資対効果をもたらします。

年間訪問客数推移（2022年からの推移）

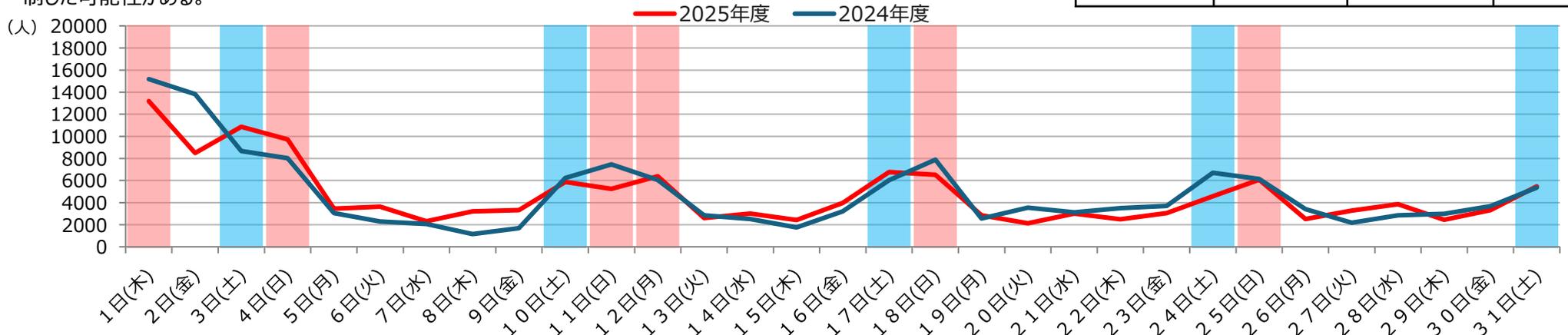
- ・2025年度は11月に年間最多（約23万人）を記録した後、12月から落ち着きに転じ、1月は閑散期として例年通りの水準で推移した。
- ・2026年1月の宿泊者数は約11万人と前年同月（約11万人）とほぼ同水準を維持。日帰り客（約4.8万人）も前年を若干上回り、底堅さを示した。
- ・年間推移全体を見ると、2022年以降の回復基調は継続しており、季節変動のパターンが安定してきていることが読み取れる。



1月の日別訪問客数推移

1月は年始の休暇や三連休など、まとまった休日が発生しやすい時期である。初詣や新年のレジャー需要、帰省にあわせた立ち寄り観光など、「特定日型」の動きが強まる傾向がある。特に日曜・祝日は、家族連れやグループでの外出が計画されやすく、温泉地である雲仙市の特性とも親和性が高いため、来訪が集中した可能性がある。一方で、平日の弱さは、年始休暇明けの通常業務再開や、寒さが厳しい時期であることが影響していると考えられる。1月は年間を通じて閑散期にあたり、旅行需要そのものが落ち着く時期。加えて、物価上昇や消費マインドの慎重化といった外部環境も、平日の観光需要を抑制した可能性がある。

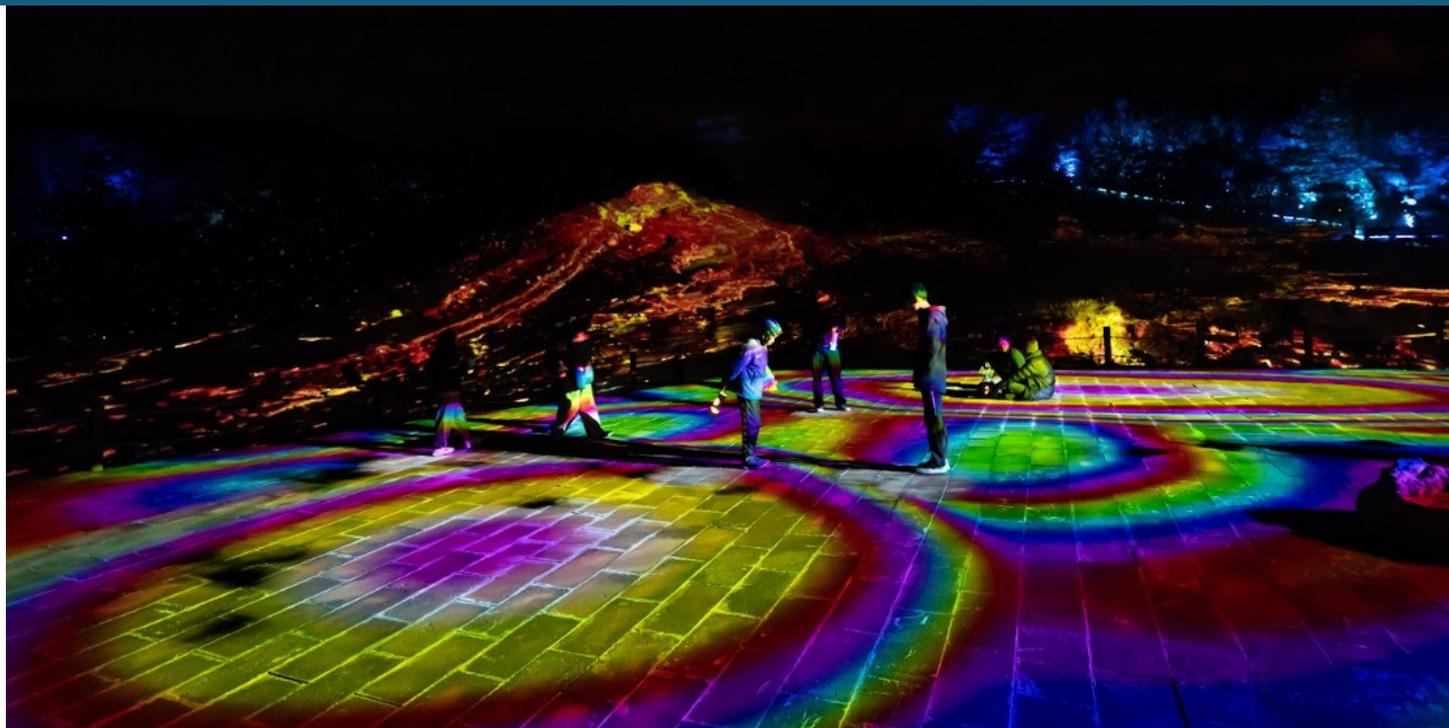
1月	平日	土曜	日・祝
今月平均	3,268人/日	6,710人/日	7,855人/日
前月比	71% ↓	92% ↓	111% ↑
前年同月比	85% ↓	97% ↓	95% ↓



※延べ宿泊滞在数（例1名が2泊3日の場合は3名とカウント）

資料）おでかけウォッチャー、入湯税実績より推計

雲仙地獄の景観を光や音の演出で再編集・演出する 没入型ナイトアクティビティ「雲仙ボルケーノナイトウォーク」今年も開催決定



開催期間:

2026年3月20日(金) ~ 5月31日(日)

点灯時間

18:00 ~ 22:00内、時期によって変動有

場所

かきつばた公園→旧八万地獄

※昨年同様のルート

料金

近日中にWEBサイト上にて掲載予定

※雲仙市民割実装予定

※宿泊者限定価格設定予定



本年度も「雲仙ボルケーノナイトウォーク」の開催が決定いたしました。

今回は宿泊者限定の特別価格設定や、市民割引の導入など、より地域に根ざした運営を目指します。

つきましては、各施設様での積極的な告知や、本イベントを組み込んだオリジナルプランのご検討をお願いします。

お客様が夜の街を歩き、地元の商店や飲食店へも足が向くような、回遊性の高い仕組みを検討していきます。

ななつ星キックオフミーティングの様子

2/16(月)、熊本駅にて、JR九州が運行するななつ星in九州の2026年新コースに向けてのキックオフミーティングに参加しました。ななつ星のコースとなっている九州の各地から約140名が集まり、運行に込められた想いを再確認するとともに、地域の事業者同士の交流が盛んに行われました。

ななつ星in九州は、2026年3月より現在のコースを一新し、九州の四季を深く感じることでできるコースを5つ展開。そのうちの一つに、7～10月の「雲仙コース」があります。九州の夏を感じつつ、標高が高い雲仙温泉で涼しく過ごしてもらプランが組み込まれています。新たな雲仙の魅力に触れてもらう機会になるため、コンテンツの再構築と磨き上げを行っています。

キックオフミーティングでは、ななつ星in九州のクルーの皆様が、地域事業者をそれぞれ繋げて積極的な交流を促している場面が多く見られました。直接顔を合わせることで、コースの全体像をつかみきっかけになり、非常に貴重な機会となりました。さらに、参加者からの要望として、お互いの受け入れ地域が現地を見に行き合い、想像を確かなものにして、ななつ星のバトンをきちんとリレーしたいという意見が聞かれました。雲仙観光局としても、「九州を元気に！」という志を同じくする皆様と一緒に歩みを進めて参ります。



↑熊本駅のTHE BLOSSOM KUMAMOTOにて

絵本「おもいをつなぐたね」ができました

長崎大学経済学部津留崎ゼミの学生と共同で制作した絵本「おもいをつなぐたね」が完成しました。本絵本は、雲仙市に住む子どもたちに、伝統野菜の魅力や、人から人へ「種をつなぐ」文化の大切さを伝えることを目的として制作されました。

きっかけは、「有明ベイサイドをもっと好きになるワーキング」に大学生たちが参加した際、「雲仙こぼ高菜」をはじめとする伝統野菜と、その歴史や営みに強い関心を持ったことです。雲仙市には、地域の風土とともに受け継がれてきた伝統野菜がありますが、子どもたちがその価値を学べる機会は決して多いとは言えません。本絵本を通して、子どもたちが物語として自然に「雲仙こぼ高菜」に触れ、「自分たちのまちの宝」に気づききっかけづくりを目指しています。また、表紙には、雲仙市立鶴田小学校3年生の児童が描いた作品を採用しており、子どもたち自身が制作に関わることで、地域への関心を育む取り組みとなっています。

現在、市内の図書館と小学校の図書室、県内図書館等へ寄贈をしております。今後も、取り組みを通じて、地域資源の継承と郷土への愛着醸成につなげて参ります。



↑表紙



↑抜粋

みずほカキ焼きまつり2026が賑わいました

2/15、2/22の日曜日、みずほすこやかランドのふれあい広場で「みずほカキ焼きまつり2026」が開催されました。雲仙観光局は、22日、諫早湾漁協瑞穂協同組合と共同で、春待ちあさりを使ったみそ汁を約400杯ふるまいました。春待ちあざりとみずほ味噌、八斗木白ねぎという地元の素材をシンプルに使ったみそ汁は好評で、ふるまいは約1時間で終了しました。

今年は、両日とも晴れ、焼き台スペースもフルに活用できたことで盛況となり、予想を上回る来客となりました。特に22日は合同のマルシェも開催されたため、賑わいました。

瑞穂の牡蠣は身が大きく、程よい塩味とプリプリとした食感が魅力です。春待ちアサリは砂抜きの必要がないゆりかご製法で育ち、これからが旬となります。ぜひ、瑞穂漁協の直売所に足を運んでみてはいかがでしょうか。



↑みずほかき焼きまつりの様子



↑あざりのみそ汁のふるまい

雲仙観光局 よろず相談窓口



お気軽にご相談ください

- とくに得意です
- ・人と人をおつなぎする
- ・SNSの活用
- ・Googleのビジネス活用

- どんな相談ができるか
- ・観光や地域づくり
- ・SNSやWebまわり
- ・人材育成 など

予約フォーム→→→

次回 3月17日(火)
愛野・吾妻エリア



担当：地域営業部（堀口）

雲仙市観光マーケティングレポート 2026年2月号

一般社団法人 雲仙観光局 UNZEN Destination Service

〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙320番地 TEL：0957-73-3639 FAX：0957-73-3620

(公式URL) <https://unzen-dmo.com> (全員集合！雲仙ポータル) <https://www.unzen-portal.jp/>

【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

本資料は、一般社団法人 雲仙観光局の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当局までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます、予めご了承ください。
※お問い合わせ先：雲仙観光局／ブランディング・マーケティング部（担当：黒原・白濱・金澤）
本資料は弊局が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまのご判断でご利用ください。

Find UNZEN 雲仙観光情報サイト
| 自分らしい雲仙を見つける |

